

岩手南部総合診療医養成プログラム概要 2016.6 申請

一般目標 (GIO)

総合診療科で遭遇する頻度の高い健康問題について適切な治療と振り分け基本的患者指導ができる

行動目標 (SBOs)

- 地域の中小規模の病院や診療所で独立してプログラムを行うことができる
 - 小児の正常な発育・発達を理解し**予防接種プログラム**や**健診**、**小児科初期治療**を行い基本的指導ができる
 - 医師および他職種のスタッフや関連機関、地域住民と地域医療向上のために**協力して行動する姿勢**を身につける
 - 経験したことのない事象に遭遇したとき、冷静に状況を分析し、よりよい**解決法を見いだす能力**を身につける
- 資格取得後の進路を自分で決定**しそれに必要な研修を指導医と一緒に組み立て遂行する

総合診療専門医の6つのコアコンピテンシー

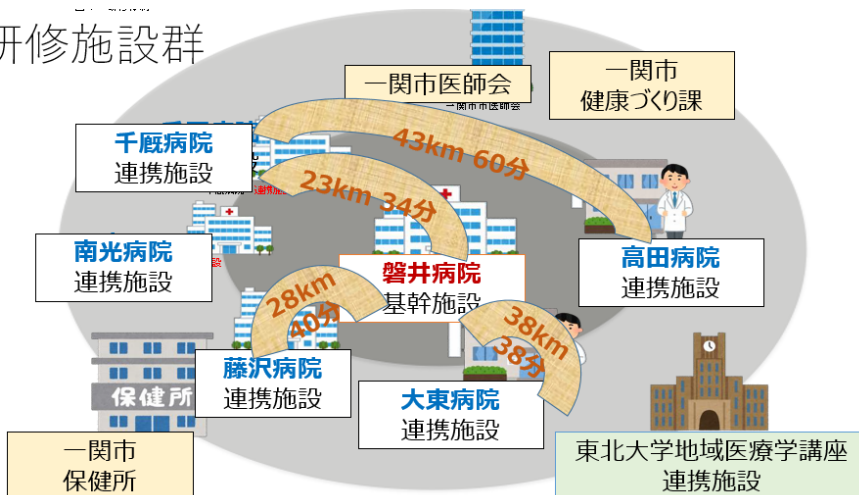
1. **人間中心の医療・ケア** Person-centered care
 - 1) 患者中心の医療 2) 家族志向型医療・ケア 3) 患者・家族との協働を促すコミュニケーション
2. **包括的統合アプローチ** Comprehensive care, Integrated care
 - 1) 未分化で多様かつ複雑な健康問題への対応 2) 効率よく的確な臨床推論 3) 健康増進と疾病予防 4) 継続的な医療・ケア
3. **連携重視のマネジメント** Interprofessional work
 - 1) 多職種協働のチーム医療 2) 医療機関連携および医療・介護連携 3) 組織運営マネジメント
4. **地域志向アプローチ** Community orientation
 - 1) 保健・医療・介護・**福祉事業**への参画 2) 地域ニーズの把握とアプローチ
5. **公益に資する職業規範** Professionalism
 - 1) 倫理観と説明責任 2) 自己研鑽と**ワークライフバランス** 3) 研究と教育
6. **診療の場の多様性** System based practice
 - 1) 外来医療 2) 救急医療 3) 病棟医療 4) 在宅医療

ローテーション

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年	磐井病院											
	小児科	救急科				内科						
2年	磐井病院						藤沢/大東/千厩/高田					
	総合診療専門研修Ⅱ						総合診療専門研修Ⅰ					
3年	藤沢/大東/千厩/高田						磐井/藤沢/大東/千厩/高田/南光					
	総合診療専門研修Ⅰ						オプション					

1年あたり6名
(×研修期間年数
=総定員 18名)

研修施設群



指導医

1	加藤 博孝	岩手県立磐井病院	院長	プログラム責任者
2	中村 紳	岩手県立磐井病院	副院長	
3	横沢 聡	岩手県立磐井病院	内視鏡科長	
4	佐藤 元美	一関市国民健康保険藤沢病院	病院事業管理者	
5	高木 史江	一関市国民健康保険藤沢病院	内科長	
6	佐藤 俊郎	一関市国民健康保険藤沢病院	内科長	
7	下沖 収	岩手県立千厩病院	院長	
8	椎名 くに	岩手県立千厩病院	医師	
9	田畑 潔	岩手県立高田病院	院長	
10	高橋 宗康	岩手県立高田病院	第2内科長	

各施設の特徴

<p>一関市国民健康保険藤沢病院 連携 総合診療Ⅰ</p> <p>保健・医療・福祉・介護の連携による地域包括医療・ケア (患者や地域住民のニーズに合った全人的かつ包括的な医療・ケア)</p> <ul style="list-style-type: none"> 藤沢病院+介護サービス事業(介護老人保健施設・特別養護老人ホーム・デイサービスセンター・認知症グループホーム・訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所・包括支援センター)を経営統合 <p>住民との対話によって地域包括医療・ケアに取り組んでいる</p> <ul style="list-style-type: none"> 「地域ナイトスクール」年1職員が地域に出向いて住民と意見交換 「保健・医療・福祉意見交換会」臨床研修医と地域住民の交流 「ふじさわ地域包括ケア研究会」地域のネットワークを深める <p>市立病院として、一関市の保健行政と連携した健康増進等の活動</p>	<p>岩手県立千厩病院 連携 総合診療Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合診療専門研修指導医が常勤 総合診療・在宅の症例が豊富 東磐井地域の中核病院としての救急医療 人工透析, リハビリテーションの充実, 地域に密着した病院 40床の回復期リハ棟 一般病床120床とあわせて160床で運用 総合医の後期研修のプログラムとして, 高齢化時代の家庭医養成プログラム「わかかさ」【H25年度】が認定
<p>岩手県立大東病院 連携 総合診療Ⅰ</p> <p>地域・住民に密着した生活感のある医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 2011年、東日本大震災で被災し入院機能を停止 2014.4に40床で入院再開 回復期機能を受け持つ病院、地域包括ケア病棟に準ずる運用 専門医療、救急医療は磐井病院、千厩病院などと連携 内科、外科、整形外科、皮膚科などを標榜 常勤医師3名 診療科にかかわらず患者さんのすべてを診るという方針 訪問診療や老人施設の回診 	<p>岩手県立高田病院(気仙医療圏) 連携 総合診療Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合診療専門研修指導医が応援診療 総合診療・在宅の症例が豊富 市内唯一の一般病院、1次医療・慢性期医療、救急告示病院 在宅医療への展開は特徴的 学校医や乳幼児健診等の各種健康診断業務、予防接種業務及び特別養護老人ホームの嘱託医 介護保険に関する会議へも出席 『健康講演会』(健康に関する講演及び地域との懇談): 市内各地域を巡回して開催
<p>岩手県立南光病院 連携 精神科</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神科単科の県立病院 医療圏の精神科救急 岩手県南の精神科医療の中心 	<p>岩手県立磐井病院 基幹 小児/救急/内科/総診Ⅱ</p> <ul style="list-style-type: none"> 中規模急性期病院 315床 医師数 常勤51人+研修医9人 救急科、形成外科、緩和医療科、新生児科がある

3年間を通じて行われる勉強会・カンファレンス等の教育機会

- 総合診療医セミナー(一関平泉総合診療プログラム構成機関共同企画、一関市共催)、各病院で持ち回り。年3回開催。参加対象: 東北の初期研修医、医師、看護師、医学生
- 感染症症例検討会。磐井病院で毎週火曜日の7:30-8:00開催の定例勉強会。
- 救急症例検討会。磐井病院で毎週月曜日の17:30-18:30開催の定例勉強会。
- ポートフォリオ勉強会。6か月に1回、5病院持ち回りで開催。
- 磐井病院と東北大学地域医療講座をTV会議システムで結び、年4回程度のカンファレンスの開催を予定。

評価方法(抜粋)

- 研修手帳の記録及び定期的な指導医との振り返りセッションを定期的実施する(頻度: 2か月に1回)
- 最良作品型ポートフォリオ作成の支援を通じた指導と作成した最良作品型ポートフォリオの発表会を行う
- 実際の業務に基づいた評価(Workplace-based assessment)を定期的実施する(頻度: 3か月に1回)

加藤博孝作成